

まちの日記帳



ヘルシー料理の試食

第2回ヘルスアップ教室(栄養教室)開催

12/18

国保特定健診を受診してメタボリックシンドロームやその予備群と判断された方を対象に隅本礼子先生を講師に招き「国保ヘルスアップ教室(栄養教室)」が文化センターで行なわれました。

初めに参加者全員の身体測定を行い、隅本先生より「睡眠・食事・運動のバランスがとれた健康的な食生活」についての話を聞いたあとで、自分に適した食事の量を知ってもらおうとバイキング方式で料理を実際に盛付け試食する体験が行なわれました。用意された料理はカロリー計算されたもので試食された参加者は「思っていたより薄味ではなかった」という感想が聞かれました。



今年も笑顔でふれあい

「食改」が老人世帯に「手作り弁当」の配食サービス

12/21

積丹町食生活改善推進員会(越谷玲子会長ほか会員17人)は、毎年恒例となっている「手作り弁当」の配食サービスを行いました。同会は、食生活の改善を通じて住民の皆さんの健康を守るさまざまな活動に積極的に取り組んでおり、配食サービスもその活動の一つとして、昭和60年頃から行なわれております。

今回は美国町内の77歳以上の独居世帯と80歳以上の夫婦世帯の77件を対象に行われ、地元で取れたカボチャなどを使った彩り鮮やかにバランスの取れた献立を考え、できたての弁当を会員が届けに行くと「楽しみに待っていたよ」「おいしそうだね」など喜びの声があがっていました。



サンタが保育所にやってきた

美国商店連盟ポイント会が園児にクリスマスプレゼント

12/25

美国商店連盟ポイント会(播磨修一会長)は、「子どもたちが喜んでくれるような楽しいイベントを」と昨年に引き続き、びくに保育所、みなと保育所、子育て支援センターの子どもたち60人にクリスマスプレゼントを手渡しました。

播磨会長が自らサンタクロースに扮し登場すると、喜び園児や怖がる園児など反応は様々でしたが、お目当てのプレゼントが差し出され一人ひとりに手渡すと、どの園児も「ありがとう!」としっかり受け取っていました。

播磨会長は「今後も町の活性化に向け楽しいイベントを企画していきたい。」と話していました。



タイトル「おばけがでた〜」 西川亜依里ちゃんが奨励賞入賞

1/12

北海道造形教育連盟と北海道新聞社が主催する第35回北海道教育美術展「保育所・幼稚園の部」で西川亜依里ちゃん（4才・びくに保育所）が6,293点の作品の中から奨励賞（22点）に選ばれ、1月12日に北海道新聞社本社で表彰されました。

作品は12月に行われた生活発表会で披露され、園児たちに人気があった「おばけがでた」という手遊びがテーマになっています。



大当たり…?! 今年始めの運だめし 美国商店連盟ポイント会が「年始大抽選会」

1/3

町内の商店や飲食店など10店が加入している美国商店連盟ポイント会（播磨修一会長）の新春イベント「年始大抽選会」が総合文化センターで行われました。

このイベントは、ポイントカードの累積ポイント（満点カード）で抽選することができ、満点カード1枚につき三角くじ4枚と500円の商品券に交換されます。今年の景品は1000円のつかみどり10本、灯油券（200ℓ）6本などが準備されました。

抽選会場は午前9時30分から並びはじめ、午前10時の開始時間になると長蛇の列が続き、景品を持ち帰る方や残念がる方など会場内は終始和やかな様子。開始50分後には「大当たり」の鐘が鳴り響き大いに盛り上がりました。



成人式 新たな旅立ち 決意新たに22人が大人の仲間入り

1/11

平成21年の成人式が1月11日、町総合文化センターで行われ、あてやかな晴れ着やスーツに身を包んだ新成人22人（式典出席者18人）が新たな門出の祝福を受けました。

午後1時から始まった式典では教育委員長の式辞、積丹町長、積丹町議会議長からの励ましの言葉のあと、成人者を代表して播磨一世さん（美国町）が記念品を受取り、坂井世矢さん（美国町）と永橋千鶴さん（幌武意町）は「これからの時代を担う社会人の一人として、責任と義務を果たし、豊かな自然に恵まれた郷土積丹に誇りを持ち、他人を思いやり、心がかよいあえる社会の実現に努めます」と誓いの言葉が読み上げられました。

